

隔月発行【むりぶし】

# Muribushi 群星

沖縄総合事務局 局報/第293号



特集

IDB沖縄総会への  
カウントダウンスタート!  
OKINAWA型産業振興プロジェクト  
(産業クラスター計画)の進展  
快適な道路を目指して

5 2004年  
月号

# CONTENTS

## 目次

Muribushi  
群星

隔月発行【むりぶし】5月

## 局の動き

- 21 お知らせ【INFORMATION】
- 20 【内閣府】沖縄の次代を担う若者に夢を与える雇用を!

- 【内閣府】改正SOLAS条約・ISPSコードに関する説明会について

- 18 【総務部】竹林義久新局長が職員へ就任挨拶
- 【財務部】証券仲介業制度の導入
- 【農林水産部】土地改良総合事務所伊江支所開設
- 【農林水産部】「久米島新家畜市場」が竣工
- 【経済産業部】めざせエジソン!「発明の日子どもフェア」開催
- 【運輸部】改正SOLAS条約・ISPSコードに関する説明会について

## 特集

Special Edition

- 2 【その1】財務部  
IDB沖縄総会へのカウントダウンスタート!
- 4 【その2】経済産業部  
OKINAWA型産業振興プロジェクト  
(産業クラスター計画)の進展
- 6 【その3】開発建設部  
快適な道路を目指して  
○みんなで築く美ら島・うまんちゅの道  
○モノレールと高速バス連携に  
係わるマルチモーダル社会実験について



## ゆいレール駅シリーズ④ 県庁前駅



県庁前駅全景



県庁



駅周辺



アート  
ガラス



アートタイル

【糸満ハーレー】

毎年旧暦の5月4日に海人(うみんちゅ)の町として有名な沖縄南部にある糸満では、糸満漁港中地区内で、海の恵みに感謝し、より一層の「大漁」と「航海安全」を祈願して、ハーレーが行われます。

糸満ハーレーは、一週間前に港を見下ろすサンティンモードハーレー鉢を打ち鳴らすことに始まり、当日の朝、ノロ(巫女)達とハーレーに参加する代表者達、世話人達がサンティンモードウガシ(御願)した後に、サバニと呼ばれる漁船でハーレーを開始します。



琉球大学農学部教授  
上野 正実

沖縄農業の課題は多くの識者によつて論じられており、すでに語り尽くされた感もある。基本的にはこれらの論旨は有効であるが、昨今の社会情勢の変化と技術の発達は早く、新たな課題も表れている。ここではその一部として、バイオマスに着目した沖縄農業の新たな挑戦課題について随想風に述べてみたい。

経済が長期低迷する中で、地域経済の再生が重要であることが認識されている。沖縄では好調な観光が牽引車の役割を果た

しているが、本質的には農業の活性化が重要である。しかし、沖縄農業の置かれた厳しい状況を踏まえると、その実現は決して容易ではなく、真剣な取り組

みが求められている。とりわけ、サトウキビについては閉塞感を拭い得ず、新しい変革をもたらす“何か”が求められてきた。そのひとつとして“バイオマス”としての視点からサトウキビを見直してみる。バイオマスは“生物量”と訳され、エネルギーや原料となるものを指すが、生物由来の有機資源の総称として下水汚泥など意外なものも含んでいる。オイルショック時に石油の代替エネルギーのひとつとしてバイオマスが注目された

## バイオマスを活用した沖縄農業の新たな挑戦

ことを記憶されている方も少な

くないと思われる。これは原油価格の安定化とともに研究開発に関する意欲と情熱はあえなく霧散してしまった。最近、温暖化対策として「バイオマス・ニッポン総合戦略」が閣議決定され、その本格的な活用が始まつた。今度はブームでは終わらせないことが求められていく。バイオマスを燃焼させると $\text{CO}_2$ は大気中に帰るが、総量の増減はないのでこの性質をカーボンニュートラルと呼んでい

る。これを利用しての化石燃料と代替によつて排出量の削減を図ることを骨子としている。“総合戦略”はこれだけでなく未利用のバイオマスを様々な資材・原料として付加価値を付けて多段階に利用する点に特徴がある。利用価値で見るとエネルギー利用は最下位にあり、地域の特性とバイオマスの種類などに応じた活用が求められる。これによつて地域経済の活性化・産業の創出・技術力の向上に貢献することが期待される。

ところで、近年の大量消費文明は島嶼社会にも多様な物資を流入させ、また、生産性を高めるために大量の生産資材が投入されている。大量の廃棄物は環境に甚大な悪影響を及ぼす恐れがでている。美しい環境の中で健やかに生活するためには、バイオマスに属する生活廃棄物や生産廃棄物を資源化するとともに無害処理を行う合理的な管理体制が必要である。

筆者とそのグループは、サトウキビの優れたバイオマス生産能力に注目し、バガスを炭化して $\text{CO}_2$ を永久に固定化し、生成される炭や酢液を多段階に利用するシステムを開発してきた。バガス炭を土壤改良材として利

用することによつてキビが増産し、 $\text{CO}_2$ の固定量をさらに増加させる効果がある。バガス炭は、土壤改良材として効果を發揮し、キビの増産が地球環境の改善につながり、生産と環境との調和が可能となる。昨今の安全・安心を求める声に応える高品質農産物の生産には有機農業の展開が不可欠である。ここで必要となる有機資材も地産地消が求められ、供給体制の整備が望まれている。

これらを総合した“バイオ・エコアイランド”は、バイオマスの有効利用によつて環境保全を実現する「バイオ・エコシステム」と、IT利用による高度農業生産システムを確立する「デジファーム」を融合し、“美しい島で元気よく暮らす！”社会を目指すものである。これを単なる絵に終わらせないために、今回、宮古島において“農林水産バイオリサイクル研究（平成十六～十八年度）”の実施が決まり、その実現に大きな一步を踏み出した。泡盛と諸味酢との関係に見られるように副産物の価値がつく時代である。バイオマスを核とした二十一世紀型地域社会の構築に向けた新しい沖縄農業の挑戦に期待したい。

# IDB 沖縄総会へのカウントダウンスタート！

来年四月開催の米州開発銀行（IDB）沖縄総会まで、いよいよ残り一年をきりました。そこで今回は、沖縄総会を盛り上げるために行っている主な取り組みのうち、最近のものをご紹介します。



点灯式

## 残暦盤点灯式（カウントダウン）

去る四月九日、IDB総会開催を一年後に控え、県庁一階の県民ホールに残暦盤が設置され、点灯式が行われました。沖縄総合事務局からは、竹林局長が出席し、稻嶺県知事、仲井真沖縄県商工会議所連合会会長、松本沖縄観光コンベンションビューロー会長、小禄沖縄懇談会代表幹事と共に点灯式のスイッチを押しました。



県知事主催レセプションの様子

今年のIDB・IIC年次総会は、リマ市の国立博物館で三月二十九～三十一日にかけて開催されました。IDBに加盟している全四十六カ国から財務大臣、中央銀行総裁、金融関係者、報道関係者等約五千人が参加し、日本からは山本副大臣をはじめとする政府代表団の他、次回総会開催地のPR活動のために、沖縄からも稻嶺沖縄県知事を団長とする歓迎団と奥山IDB沖縄総会開催実行委員会事務局長を団長とする調査団の総勢六十四名が総会に参加しました。

## IDBリマ総会

成功に向けて県民挙げた取り組みを呼び掛けました。



リマ市にある国立博物館

山本副大臣は総務演説の最後に日本人が日本と中南米地域の掛け橋となつて中南米各国の経済社会発展に貢献してきた点について触れ、「南国沖縄で来年四月に皆様方と再会できることを心より楽しみにしております。」と演説を結んで、総会参加者に次年度開催地沖縄をアピールしました。総会会場の入口付近には、次年度開催地である沖縄PRのためのブースが設けられ、会場に出入りする人々の目を引きました。二十九日に行われたオープニングセレモニーでは、琉球舞踊や獅子舞の演舞が披露された他、集まつた人々に



総務演説を行う山本副大臣

会議まで一年弱となり、総会へのカウントダウンも始まりました。これから本格的に沖縄におけるIDB総会開催に向けて準備が進んで行きます。五月にはイグレシアスIDB総裁が訪沖された他、IDBの役割や沖縄から見る国際交流・人的貢献の意義等を県民

## 今後の取り組み

泡盛が振舞われました。アジアからの唯一の加盟国である日本での開催は、前回の名古屋総会から数えて十四年ぶりになります。異国、沖縄に対する人々の関心は非常に高く、それは三十日に開催されたセミナー、同日夕方行われた県知事主催の歓迎セレブションの盛況振りからも伺えました。

## IDB沖縄ロゴマーク決定

総会に先立つ3月5日、沖縄総会のロゴマークが決定しました。IDB沖縄総会のロゴマークは「シーサー」がモチーフになっており、アジアの中の沖縄で行われる会議であることが一目で認識できるように表現されています。このシーサーを総会のロゴとして力強く描くことで沖縄総会の重厚感を演出し、またシーサーから発せられる炎はIDB総会の主役である南北アメリカ大陸を表しています。沖縄の守り神「シーサー」が会議の無事を見守り、成功へ導くよう願いが込められています。シーサーの左下はIDB（米州開発銀行）右下はIIC（米州投資公社）のロゴマークとなっており、英文字は「年次総会」と記されています。



ロゴマークとあわせてIDB沖縄総会のHPも完成しました。こちらもあわせて御覧下さい。  
<http://www.idb-okinawa2005.jp/>



沖縄PRブース



ビジネスプラン発表会 サポート金融会議 販路開拓実践プログラム 地域新生コンソーシアム委員会 沖縄薬草利用研究会 環境ビジネスフォーラム



個別研究会 簡易迅速検査研修会 オープンソース委員会 産学官交流サロン

はじめに

経済産業部では、地域を支え世界に通用する産業集積、産業クラスターの形成を図り、沖縄経済の活性化を目指す「OKINAWA型産業振興プロジェクト」を平成十三年度から推進しています。当初、約百企業、一大学でスタートした本プロジェクトは、現在では約一五二企業、三大学等までに拡大しています。また、昨年七月には産業クラスター計画を資金面で支援するため地元金融機関による沖縄地区産業クラスターサポート金融会議も設置されたところです。

本プロジェクト始動から今年度で四年目を迎え、これまでの活動内容を御紹介します。

### OKINAWA型産業振興プロジェクトとは

経済産業省が地域経済の再生のため全国で展開しているバイオやIT等のクラスターを形成する十九のプロジェクトの一つで、沖縄においては、保有資源や政策投資等の面から高い成長が期待できる

の四つを戦略的産業分野と位置づけております。OKINAWA型産業振興プロジェクトは、これら企業群と産学官の広域的な人材ネットワークの形成を図り、かつ、総合的・効果的に施策

を受けないオープンソースソフトウェアの導入・利用を促すため、オープンソース講演会を開催(三回)等(七回)を行っております。

員長・宮城隼夫(琉球大学工学部)は、特定企業による制約を受けないオープンソースソフトウェアの導入・利用を促すため、オープンソース講演会を開催(三回)しました。

地域新生コンソーシアム研究開発事業への提案を目指す研究開発案件の質的向上を図るため、産業技術動向調査事業を実施しています。平成十五年度は産学官で構成する個別研究グループが八件結成されました。

企業の経営者や大学・公設試験研究機関の研究者、さらには行政機関の担当者等が一堂に会して、技術、マーケット動向等について意見や情報交換を行うとともに、フェイス・トゥ・フェイスのつな繋りを促進するための場を定期的に提供しています。

### 三、専門家派遣事業

マーケット情報、商品開発・製造、販路開拓・拡充など自分では解決が困難な様々な課題、ニーズについて、企業の要望に応じて専門家を派遣し、的確なコーディネートやアドバイスを行っています。

### まとめ

このようにOKINAWA型産業振興プロジェクトでは「産・学・官」等の連携による研究開発や新商品開発が行われるなど「産業クラスター」の形成を目指した各種事業を推進しております。今後も、ネットワークの更なる拡充強化を図り、中核的研究会の活動を通して効果的な研究開発の推進、事業化、ビジネス創出を目指します。

三、専門家派遣事業

マーケット情報、商品開発・製造、販路開拓・拡充など自分では解決が困難な様々な課題、ニーズについて、企業の要望に応じて専門家を派遣し、的確なコーディネートやアドバイスを行っています。

### 三、専門家派遣事業

企業の経営者や大学・公設試験研究機関の研究者、さらには行政機関の担当者等が一堂に会して、技術、マーケット動向等について意見や情報交換を行うとともに、フェイス・トゥ・フェイスのつな繋りを促進するための場を定期的に提供しています。

### 三、専門家派遣事業

地域新生コンソーシアム研究開発事業への提案を目指す研究開発案件の質的向上を図るため、産業技術動向調査事業を実施しています。平成十五年度は産学官で構成する個別研究グループが八件結成されました。

### 三、専門家派遣事業

企業の経営者や大学・公設試験研究機関の研究者、さらには行政機関の担当者等が一堂に会して、技術、マーケット動

快適な道路を目指して

# みんなで築く美ら島・うまんちゅ ～道路整備に関するアンケート結果について～

沖縄の道路整備に対し、県民の満足・不満の程度を調べ、今後の道路行政に反映する為にアンケート調査を実施しました。その結果について概要を報告します。



## 今後の道路事業（施策）の優先順位 優先順位 一位「渋滞対策」

二十一の項目の中から優先的に実施してほしい事業（施策）については、一位が渋滞の対策（四十七・八%）で「一人に一人の割合で回答がありました。二位が電線類の地中化（三十一・五%）、三位が狭い道路の改良（二十一・六%）、四位が歩道のバリアフリー化（十九・五%）、五位が生活道路の整備（十八・五%）でした。



生活圈別分析

野湾市、豊見城市、那覇市、西原町、南風原町)、中南部生活圏(読谷村、具志川市以南)、北部生活圏、宮古生活圏、八重山生活圏の五生活圏に分け、生活圏別分析を行いました。

現在の道路に対する満足度で一番低い「道路の混雑状況」の満足度を生活圏別にみると、那覇都市圏の満足度が一九と一番低く、宮古生活圏、八重山生活圏においては、三・四、三・五と高くなっています。これは、生活圏別の道路渋滞状況を反映しています。

今後の道路事業(施策)の優先順位で、沖縄県全県で二位の電線類の地中化」を生活圏別に見ると、各生活圏とも上位に位置しますが、特に宮古生活圏が高くなっています。これは、昨年九月に宮古島を襲った台風十四号による甚大な被害の影響によるものと考えられます。



## 台風14号による電柱の倒壊(宮古島)

### 【電線類の地中化の優先項目回答率】



## 今後に ついて

アンケート調査を、このような規模と手法により実施したのは初めてであり、5千人以上からの回答が得られ信頼性の高いデータと考えております。調査結果は毎年度策定する道路事業達成度報告書、道路事業業績計画書に反映し、県民の満足度が向上するように努力していきたいと考えております。

## 不満足度一位「道路の混雑状況」

今後の道路事業(施策)の優先順位  
いほど満足度が低い。  
渋滞の対策、生活道路の整備、  
わかりやすい案内標識の整備等  
二十二の項目から、優先的に実施  
してほしい事業(施策)を三つ選  
んでもらつ。

実施概要	
調査地域	沖縄県全域
調査票配布	平成十六年一月十八日(水)
新聞折り込み配布	八重山毎日新聞、 沖縄タイムス、琉球新報、 宮古毎日新聞
郵送回収	調査票回収
調査時期	平成十六年二月十八日(水)

現在の道路に対する満足度  
二十一の項目の中で、満足度の  
「低」(不満が大きい)順では、一位  
が「道路の混雑状況(一・一)」、二  
位が「路上工事の実施状況(一・  
二)」三位が「歩道の設置状況(一・  
三)」でした。満足度の高いものは、  
「離島架橋の整備(三・五)」、「高速  
道路の整備(三・四)」、「道の駅等  
の施設(三・四)」でした。



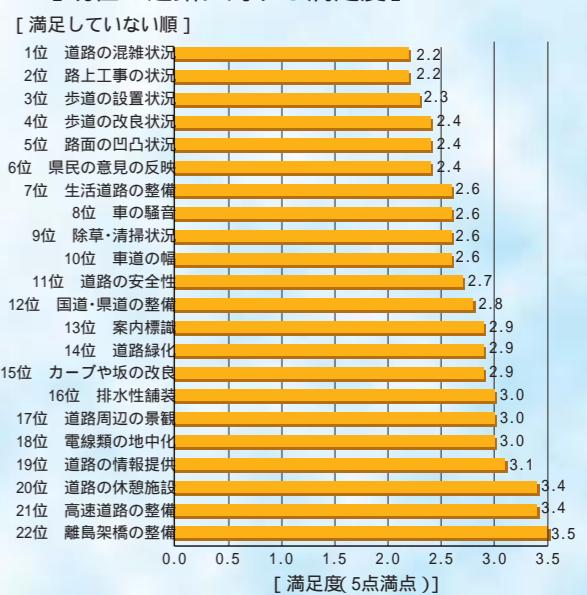
### 国道 58 号の渋滞（浦添市内）

現在の道路に対する満足度  
道路の混雑状況、電線類の地中  
、道路の綠化状況等二十二の項目  
について、満足（五点）、やや満  
足（四点）、どちらとも言えな（三  
）、やや不満（一点）、不満（一点）  
五段階評価をしてもらひ、満足  
は平均点で表し五点満点で低

# 現在の道路に対する満足度

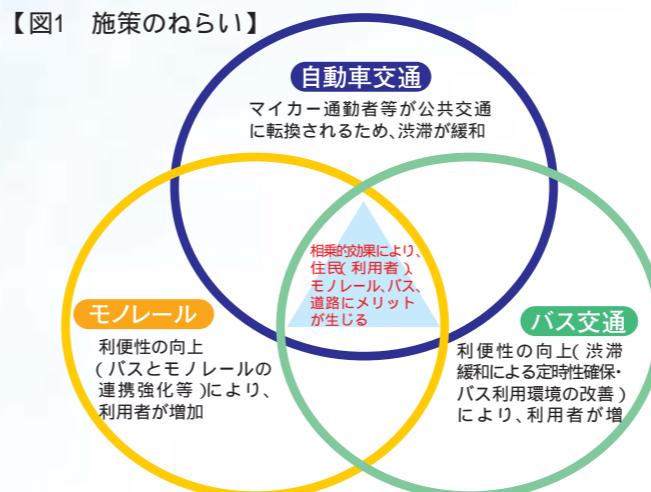
## 道路の混雑状況、電線類の地中化、道路の緑化状況等二十一の項目について、満足（五点）、やや満足（四点）、どちらとも言えない（三點）、やや不満（一点）、不満（一点）の五段階評価をしてもらう。満足度は平均点で表し五点満点で低

### 【現在の道路に対する満足度】



# 快適な道路を 目指して

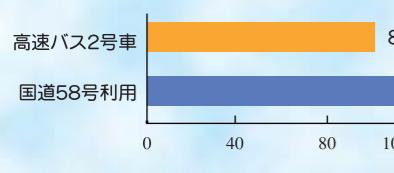
## 2 モノレールと高速バス連携に 係わるマルチモーダル 社会実験について



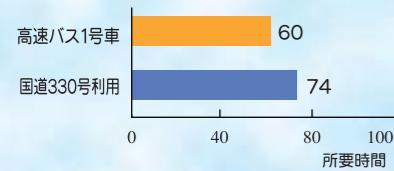
那覇都市圏では、沖縄県中南部地域から那覇市に集中する自家用車による交通渋滞の解消を図るために、多様な渋滞対策が講じられています。その一環として、モノレールとバスの連携の強化や結節点の強化といった使いやすい公共交通システムを再構築し、自家用車から公共交通への転換を促進する施策（マルチモーダル施策）を検討し、高速バスと沖縄都市モノレールの連携強化を軸に、使いやすい公共交通システムを構築することで、モノレール・路線バスの利用促進、道路における交通渋滞緩和、路線バスの定期性の確保という三つの相乗的な効果の創出（図1参照）を目的とする公共交通システムの検討を行い、社会実験を実施しました。

【図4 時間短縮効果】

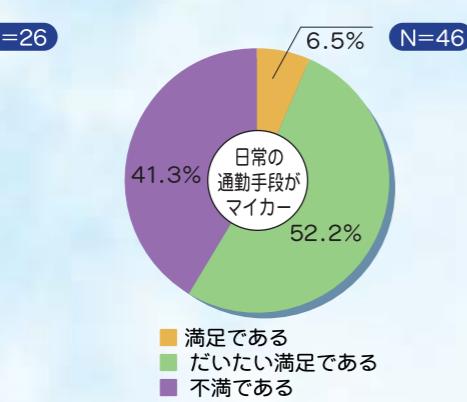
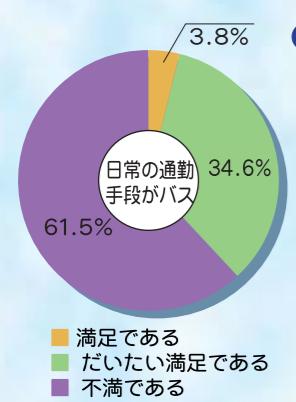
読谷村楚辺～県庁前



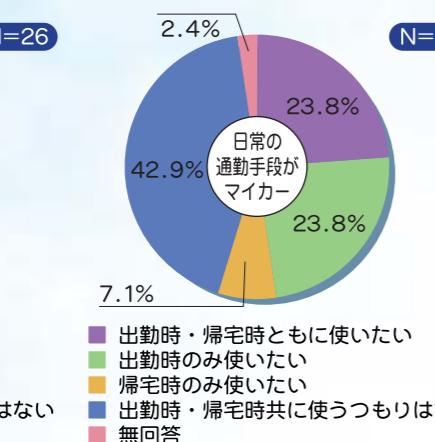
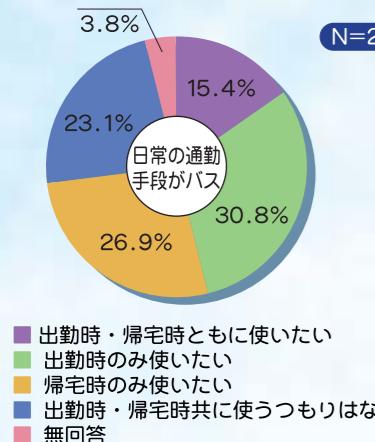
具志川バスターミナル～県庁前



【図5 日常の通勤に対する満足度】※Nは回収数



【図6 継続利用意向】



【図8 希望運賃】



【図7 継続利用にあたっての条件】N=556

高速バス停を出発する路線バスの便数を増やす	5	15	28
路線バスの最終便を遅くする	9	15	24
高速バスの最終便を遅くする	7	12	29
首里駅を出発する高速バスの便数を増やす	2	13	33
首里駅に到着する高速バスの便数を増やす	2	16	29
高速バス停にアクセスする路線バスの便数を増やす	3	18	25
バス情報提供システムをより使いやすくする	19	18	6
路線バス停～高速バス停の歩行アクセスを改善する	20	17	8
自宅～路線バス停の歩行アクセスを改善する	33	11	1
料金設定時に通勤コストを現状よりも縮減させる	4	12	32
帰宅時の所要時間をより一層短縮させる	23	16	5
出勤時の所要時間をより一層短縮させる	22	17	7

■改善しなくてもよい ■改善が必要である ■大いに改善が必要である

### 3 今後の検討

今回の社会実験においては、自動車利用、「帰宅時のみ利用」を含めると、それぞれ五十、七十%程度の回答がありました。その中で、高速バス及び都市内循環バスの発着頻度・時間帯の拡充も行いました。実験で設定した通勤方法の詳細は次の通りです。

利用、「帰宅時のみ利用」を含めると、それぞれ五十、七十%程度の回答がありました。その中で、高速バス及び都市内循環バスの発着頻度・時間帯の拡充も行いました。実験で設定した通勤方法の詳細は次の通りです。

高速バスとモノレールの連携に係わるマルチモーダル社会実験を、平成十六年二月～十三日の平日九日間において、中部地域から那覇市へ通勤している六十九名のモニターに参加して頂きました。またあわせて、定時性、通勤所要時間の短縮、利用コスト等に係わる効果の検証も行いました。実験で設定した通勤方法の詳細は次の通りです。



### 1 実験の概要

#### a 都市内循環バス方式

自宅～最寄り高速バス停間を循環バスで送迎

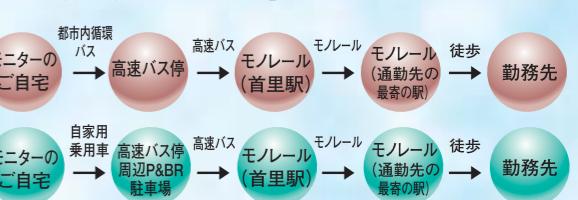
#### b P & B R 方式

自宅～最寄り高速バス停間をモニターオン自身で自家用乗用車を運転し、高速バス停付近に仮設する専用駐車場に駐車（専用駐車場～高速バス停は徒歩）

【図2 公共交通乗継ぎシステム】



【図3 実験実施パターン】



## 財務部

未利用国有地については、現在の厳しい財政状況の下では、管理面及び税外収入確保の観点から売却促進が大きな課題となっています。特に近年増加している相続税物納により収納した未利用の土地等については、金銭の代わりに収納されたものであり、可及的速やかに売却して国庫に充当することが必要です。

財務省（沖縄総合事務局財務部）では、不動産市場の低迷という状況下ではありますが、入札を行うに当たって一定期間を設け、当該期間内に入札書を当局宛てに郵送することによって入札に参加する制度（期間入札制度）や相続税物納財産に係る土地等について最低売却価格を公表した入札制度を導入するなど種々の施策を取り組んでいます。

沖縄総合事務局財務部では、未利用国有地の入札を六月、十二月の年二回実施しており、今回は十六年度第一回の一般競争入札（期間入札）の実施を以下のとおり行う予定です。

国庫に応札され得るかがでしようか。

なお、公示中の一般競争入札等の対象物件及び今後売却を予定している物件についての情報は順次ホームページに掲載していますので、詳細については下記のホームページにアクセスしてご覧下さい。

未利用国有地については、現在の厳しい財政状況の下では、管理面及び税外収入確保の観点から売却促進が大きな課題となっています。特に近年増加している相続税物納により収納した未利用の土地等については、金銭の代わりに収納されたものであり、可及的速やかに売却して国庫に充当することが必要です。

財務省（沖縄総合事務局財務部）では、不動産市場の低迷という状況下ではありますが、入札を行うに当たって一定期間を設け、当該期間内に入札書を当局宛てに郵送することによって入札に参加する制度（期間入札制度）や相続税物納財産に係る土地等について最低売却価格を公表した入札制度を導入するなど種々の施策を取り組んでいます。

沖縄総合事務局財務部では、未利用国有地の入札を六月、十二月の年二回実施しており、今回は十六年度第一回の一般競争入札（期間入札）の実施を以下のとおり行う予定です。

国庫に応札され得るかがでしようか。

なお、公示中の一般競争入札等の対象物件及び今後売却を予定している物件についての情報は順次ホームページに掲載していますので、詳細については下記のホームページにアクセスしてご覧下さい。

## 未利用国有地の

## 売却について

## 平成16年度 第1回国有地一般競争入札（期間入札）のお知らせ

- ①個人・法人どなたでも参加できます。
- ②一般競争入札は郵送又は持参での受付となります。
- ③一般競争入札に参加するには入札金額の5%に相当する保証金が必要です。

受付期間：平成16年6月7日（月）～6月16日（水）午後5時まで

開札日：平成16年6月18日（金）午後2:00～

【物件番号1601～1615】

\*最低売却価格以上で、かつ最高金額の入札をした方にお売りします。（最低売却価格は5月18日より公表します。）

【物件番号1616～1618】

\*国の予定価格（非公表）以上で、かつ最高金額の入札をした方にお売りします。

\*入札を実施しても落札しなかった物件については、6月22日以降先着順により売却します。

詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

物件番号	所在地	地目	面積 m <sup>2</sup> (仮換地数量)	坪数
1601	那覇市字上間388番1	現況宅地 (畳)	1,355.73	410
1602	那覇市字国場873番5、 873番6	現況宅地 (畳)	375.31	113
1603	—	—	—	—
1604	那覇市字与儀90番1	宅地	419.48	126
1605	那覇市与儀2丁目391番4	宅地	435.13	131
1606	那覇市三原3丁目394番14	宅地	278.58	84
1607	那覇市三原3丁目394番22	宅地	180.33	54
1608	豊見城市字真玉橋487番、 487番2、487番3	現況宅地 (畳)	960.59	290
1609	浦添市大平1丁目27番6	宅地	141.19	42

物件番号	所在地	地目	面積 m <sup>2</sup> (仮換地数量)	坪数
1610	浦添市大平1丁目2番6、2番9	宅地	161.12	48
1611	浦添市屋富祖1丁目109番24	宅地	128.82	38
1612	浦添市安波茶1丁目328番2	現況宅地 (畳)	284.17	85
1613	浦添市字港川427番2	現況宅地 (雑種地)	7,535.91	2,279
1614	宜野湾市宜野湾2丁目250番1	現況宅地 (畳)	231.12	69
1615	沖縄市上地1丁目190番3	宅地	142.11	42
1616	石垣市新栄町58番19外2筆	宅地	489.23	147
1617	那覇市首里石嶺町4丁目1番3	宅地	662.08	200
1618	那覇市首里石嶺町3丁目249番1	宅地	2,152.23	651

※詳しくは案内書（無料）を配付しています。下記までお問い合わせ下さい。

沖縄総合事務局 財務部 統括国有財産管理官（那覇市前島2丁目21番地13号ふそうビル4階） ☎ 098-866-0063

ホームページ <http://ogb.go.jp/okizaimu/>

●八重山財務出張所 ☎ 0980-82-4941 (石垣市字登野城55-4 石垣地方合同庁舎3階)

●宮古財務出張所 ☎ 0980-72-4774 (平良市字下里1016 平良地方合同庁舎3階)

## 貸金業者情報検索サービスとは

貸金業者は、主たる営業所等の所在地を管轄する財務局・都道府県の登録を受けなければなりませんが、無登録のヤミ金融業者はモバイル端末やダイレクトメール等を利用して広範囲に活動しており、法外な高金利要求や悪質な取立てによる被害は全国的な広がりを見せていました。このような状況を踏まえ、無登録業者からの借入防止という資金需要者保護の観点から、金融庁ホームページにおいて、全国の登録貸金業者の情報をインターネット上で検索できるシステムを構築し、平成十五年五月二十九日に運用を開始しています。

## ご利用にあたって

本サービスで検索したい業者名等を入力し、登録されている貸金業者に該当した場合には、□商号・名称、法人・個人の別、□登録先、登録番号、登録日、□代表者氏名、□本店の所在地・郵便番号・電話番号、□行政処分（業務停止）中の貸金業者については、その開始日と終了日、といった情報の全

●検索された情報は、各財務局・都道府県が紹介されます。

### 各財務局長登録の貸金業者に関するお問い合わせ先

[http://www.fsa.go.jp/notice/noticej/kensaku\\_toi1.html](http://www.fsa.go.jp/notice/noticej/kensaku_toi1.html)

### 各都道府県知事登録の貸金業者に関するお問い合わせ先

[http://www.fsa.go.jp/notice/noticej/kensaku\\_toi2.html](http://www.fsa.go.jp/notice/noticej/kensaku_toi2.html)

## 検索サービス機能追加について

平成十六年一月一日に無登録業者等のヤミ金融業者による被害が社会問題化したことを受け、改正貸金業規制法が全面施行されました。この改正法では、貸金業者が貸付条件の広告等を行う際に、表示等をする営業所等の連絡先（広告用電話番号）については、貸金業者登録簿に登録されたもの以外は、表示等を行うことを禁止しています。この改正法をうけ、現在金融庁においては、□資金需要者が広告等に記載されている広告用電話番号について、貸金業者登録簿に登録されている電話番

府県がデータの更新処理を行った時点のものであり、照会日現在のものではありません。  
●このサービスで検索されない貸金業者は、各財務局・都道府県がデータ更新処理後に新規登録を行ったか、「貸金業の規制等に関する法律」に基づく登録を行っていない無登録業者（いわゆるヤミ金融）である可能性があります。

●最新の情報やご不明な点は、登録番号欄に記載されている各財務局・都道府県にお問い合わせください。

## 貸金業者情報検索サービス

098-862-1944

沖縄総合事務局  
金融監督課

お問い合わせ先

# 「貸金業者情報検索サービス」について

# 平成十六年渴水について

沖縄地方は平成十五年の降水量が、平年の約七十一%と最近に無い少雨に見舞われました。那覇の年間降水量は、気象台百十二年間の観測史上で六番目に少ないものでした。

## 減りつづけるダムの貯水量

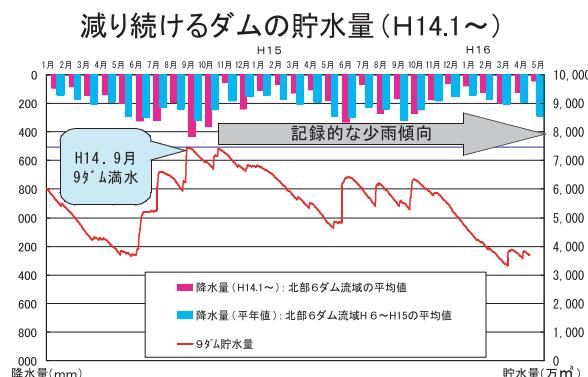
県内九ダムの貯水量は、少雨期である十一月～四月までの間漸減し、その後、五月～六月の梅雨期、八月～十月までの台風襲来期の降雨によつて回復するものが一般的なパターンです。しか



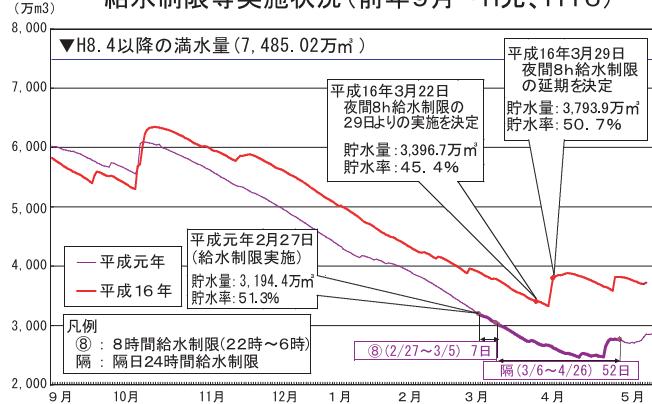
福地ダム貯水池状況（H 16.4.16現在）

## 渴水調整と給水制限

しながら昨年の記録的な少雨と今年に入つてからも少雨傾向が続いていることから県内九ダムの貯水量は、平成十四年末頃から減少傾向が続き、平成十六年五月上旬時点の貯水量は平成元年以降二番目に低い値となっており厳しい水事情となっています。



### 給水制限等実施状況(前年9月～H元 H16)



ら、約十年振りの夜間（二十二時～六時）八時間給水制限を本島と伊江島の三十市町村で実施することを決定しましたが、実施直前の三月二十七日～二十八日に北部五ダム流域において平均百十三  $\text{mm}$  の降雨があり、県内九ダムの貯水量が約三千八百万  $\text{m}^3$  まで回復したため、給水制限を当面の間延期しています。五月五日には梅雨入りしておらず今後の降雨状況にもよりますが、給水制限の目安としていた貯水量三千二百万  $\text{m}^3$  に低下する時期が五月下旬頃と予測されることから、再度協議することとしています。（五月七日現在）

## 協議会等開催状況

むだづかい  
やめてよー!!

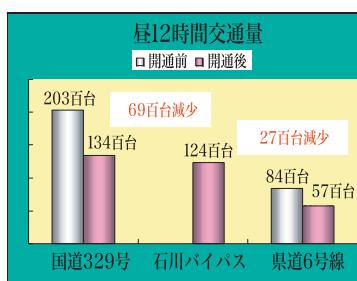


平成十六年二月二十九日（協議会）  
書面協議により三月二十九日からの夜間  
八時間給水制限実施の延期を決定  
平成十六年四月（十七日）（幹事会）  
県民に節水を呼びかけ

## 開発建設部



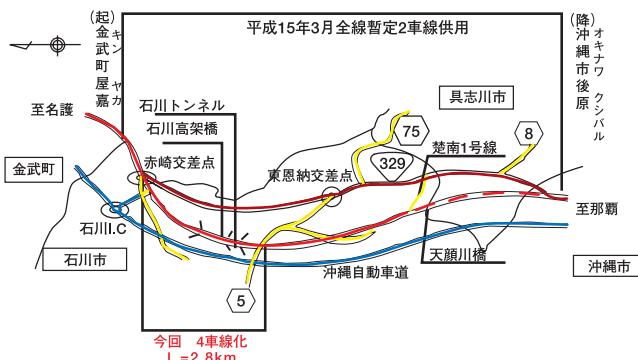
開通式



**石川バイパス供用による効果**  
石川バイパス供用後に交通量調査を実施し、供用による効果を調査した結果、供用後現国道区間の交通量が減少しており、バイパスに交通が転換していることが伺えます。また、金武町屋嘉久沖縄市後原間の通過時間も短縮しており、石川バイパス供用による効果が現れています。



石川トンネル



幅員が広がり利便性が向上した歩道(バス停にはベンチ兼用の植栽を配置)

沖縄西海岸道路の一部区間である豊見城道路は、糸満道路とともに県都那覇市を結ぶ一般国道三三一號の糸満、豊見城市及び周辺部の交通混雑の緩和を目的とした豊見城市瀬長から糸満市西崎までを結ぶ、4・0 kmの道路です。今回供用(平成十六年三月三十一日)したのは糸満市西崎町三丁目～同町四丁目までの約一・一 km区間です。

豊見城道路については当面、平成十八年度供用に向けて豊見城市瀬長から糸満市西崎地区の整備を進めていく予定ですが、今後この道路の整備が進み全区間供用となれば、国道三三一號などの交通混雑はもとより、沖縄県の玄関口となる那覇空港方面への連絡強化がなされ、地域及び観光産業への支援等経済活性化の大きな期待がよせられる道路となります。



## 一般国道三三一號豊見城道路

【西崎地区】

## 一般国道三三一號石川バイパスの部分四車線供用について

石川バイパスは、名護市を起点とし那覇市までの沖縄本島東海岸の主要都市を結ぶ一般国道三三一號のうち、交通混雑の著しい石川市街地の交通緩和を目的に金武町屋嘉久沖縄市後原に至る八・二〇の四車線バイパスとして計画されました。昨年三月の全線暫定二車線供用につづき、今回、平成十六年三月三十日(火)に赤崎交差点から伊波(県道六号線)の区間(二・八〇)を四車線供用しました。現在、平成十六年四〇)に向け、工事に取り組んでいます。

## 開発建設部

コーディネーター
小濱 哲(名桜大学教授)
パネリスト
堀江 謙一(海洋冒険家)
高樹 沙耶(女優)
青木 義典(ウォーターフロント開発協会)
安里 香織(みなとまちづくり女性フォーラム)



トーク＆トーク「港・海への想い」

堀江さんはヨットで海に親しみ、高樹さんは海で遊ぶことの楽しさを話されたのに對し、地元の安里さんは意外にも「地元の人は海で遊ばないんですよ」と話されたのには高樹さんは「もつたない！」の声があがり、会場からも笑いがあつて、終始和やかムードな「トーク＆トーク」でした。又、来場者の意見として、「海に囲まれた沖縄での海の利用が、今議論されるのは遅すぎるほど。海を汚さないことと同時に海の利用の促進を」という声や、「あらためて海の素晴らしさを知った」、「このような催しを県内各地で開催して欲しい」などの声がありました。

沖縄は独特の歴史、文化、芸能のあるところ。今後どこにもない沖縄

三月十五日、沖縄市において、那覇港湾空港工事事務所後援の「ウォーターフロントシンポジウム in 沖縄」が開催されました。

シンポジウムは、基調講演とパネルディスカッション形式の「トーク＆トーク」の二部構成で行われ、海に囲まれながら海を充分に活かしきれていない沖縄のウォーターフロント空間を、一般市民を含めみんなで考えようとした人が集まりました。

講演者には、小型ヨットで一九六二年に単独太平洋横断を成し遂げた海洋冒険家の堀江謙一さんと、女優でありそして、スクーバダイビングでも活躍する高樹沙耶さんを迎えました。講演後、堀江さん、高樹さんと名桜大学の小濱教授、ウォーターフロント協会の青木専務理事、地元を代表して中城湾港みなとまちづくり女性フォーラムの安里香織さんを交え、「港・海への想い」と題した「トーク＆トーク」が行われました。

堀江さんはヨットで海に親しみ、高樹さんは海で遊ぶことの楽しさを話されたのに對し、地元の安里さんは意外にも「地元の人は海で遊ばないんですよ」と話されたのには高樹さんは「もつたない！」の声があがり、会場からも笑いがあつて、終始和やかムードな「トーク＆トーク」でした。又、来場者の意見として、「海に囲まれた沖縄での海の利用が、今議論されるのは遅すぎるほど。海を汚さないことと同時に海の利用の促進を」という声や、「あらためて海の素晴らしさを知った」、「このような催しを県内各地で開催して欲しい」などの声がありました。

沖縄は、その歴史、文化、芸能のあるところ。今後どこにもない沖縄

らしいものを考え、多くの人が海に親しみ、遊び、そしてウォーターフロントが沖縄の重要な産業である観光産業の大きな柱となるようこれからも地元の人とともに考え、事業の取り組みを行つていただきたいと考えています。



高樹沙耶さん

# 「ウォーターフロント シンポジウム in 沖縄」 開催

## 開発建設部



学生自ら運営を担当

沖縄総合事務局では沖縄の港湾を活用した海辺の自然学校を二月二十八日から三月七日にかけて沖縄本島北部の運天港、宮古島にある平良港、そして石垣島にある日本最南端の重要な港湾石垣港で開催しました。

**運天港（二月二十八日）**  
運天港の海辺の自然学校は、～屋我地の自然と文化、歴史を知るエコツア～というテーマで、名桜大学で観光環境領域を専攻している学生の「コーディネートにより、ビーチコーミング、沖縄愛楽園（ハングセン病患者の療養施設）見学、干潟観察が行われました。名桜大学で観光環境領域を観察を行いました。今回は同じく

海辺の自然学校は、国土交通省港湾局で実施している自然体験学習プログラムです。海辺の自然については、これまでも緑地、海浜、干潟などの整備など、ハード面の親水空間の形成が行われてきましたが、環境教育推進法の施行などに見られるように自然体験に対する認識が高まりを受けて、港湾空間という市街地から比較的近いところにある身近な自然環境を活用して、子供達に自然体験を提供し、環境学習を行うという取り組みがこの海辺の自然学校です。

沖縄総合事務局では沖縄の港湾を活用した海辺の自然学校を二月二十八日から三月七日にかけて沖縄本島北部の運天港、宮古島にある平良港、そして石垣島にある日本最南端の重要な港湾石垣港で開催しました。

専攻している学生にモニターとして参加してもらい、専門で勉強している立場から様々な感想を頂きました。参加した学生達へのアンケート結果からは、海岸清掃を通じた環境意識の向上や、愛楽園の見学を通じた地元の歴史・文化の理解の向上が見られました。

**平良港（二月二十九日）**  
平良港の海辺の自然学校は、～身近な海辺の自然体験～というテーマで、NPO法人インフォメーションセンターの「コーディネートで行われました。参加したのは地元の小学生達で、トウリバーア地区でシーカヤック体験と自然観察を行いました。今回のシーカヤックは出島方式で整備されたトウリバー

地区に設けられた水路を主なコースとして実施されました。水路はシーカヤックを行うのに適度な広さ・深さがあり、また非常に静穏度が高いため子供達も安心してシーカヤックを楽しむことが出来ました。子供達のアンケート結果には「楽しめた」「またやりたい」などの文字が並び、みんな大満足の様子でした。

**石垣港（三月六・七日）**

石垣港の海辺の自然学校は、～サンゴ礁の海と暮らしのエコツア～というテーマで、平良港と同じくNPO法人インフォメーションセンターの「コーディネートで行われました。今回はスノーケリングや漁業体験とスノーケリングに挑戦する参加者



シーカヤックを楽しむ小学生



スノーケリングに挑戦する参加者

# 「海辺の自然学校」沖縄二箇所で開催！

であり、中には初めてスノーケリングをされた方もいましたが、この時期に海に入れることに大変感動している様子でした。特に、海人（漁師）との交流が心に残ったようで、アンケートには一生の思い出になったと書かれていた方もいらっしゃいました。

以上のようにそれぞれ場所、メニュー、対象者などが異なる形で海辺の自然学校が開催されましたが、どれも参加者達には好評であり、沖縄の港湾空間を活用した自然体験学習・エコツア～の可能性が十分にあることが示された格好となりました。

沖縄総合事務局では、今後もこうしたプログラムが地域に密着した形で実施されるよう働きかけを行うとともに、自然環境の創出・再生といったハード面だけでなくこうしたソフト面の活動も実施していくたいと考えています。



# 局の動き

★各部の動きをチェック!★

## 運輸部

改正SOLAS条約・ISPSコードに関する説明会について

米国同時多発テロ事件を契機としてIMO(国際海事機関)において海事分野のテロ対策の強化について検討が重ねられ、海上人命安全条約(SOLAS条約)の改正並びに船舶及び港湾についてのテロ対策についてハード、ソフト両面からの保安措置を具体的に規程した国際コード(ISPSコード)が採択され、平成16年7月1日から効力が発生することとなっています。

同条約によると、対象とする国際航海に従事する旅客船又は総トン数500トン以上の旅客船以外の船舶については、旗国が実施するISPSコードに基づく検査に合格し、発行される船舶保安証書を所持していなければ7月1日以降、航行できないことになります。ちなみに、対象となる日本船舶については、県内では3隻がこれに該当しております。

運輸部においては、7月1日から効力を発する同条約の適正な運用に向け、平成16年3月11日から12日にかけて国土交通省の担当者を講師に招いて、事務担当者を対象に説明会を開催しました。

具体的な内容については、例えばハード面においては、船舶自動識別装置(AIS)や警報装置等の早期導入、また、ソフト面においては船舶内の立入制限区域の設定、船内巡回の実施、部外者の出入りのチェック等を内容とする船舶保安計画の策定及び船舶、会社双方に保安職員の配置を義務づける等の所要の措置を講ずることについて説明がありました。

さらに座学のあと、今回対象となる有村産業(株)のクルーズフェリー「飛龍21」に乗船し、船上での説明会も行わされました。

なお、条約発効後は寄港国は監督を行い、要件を満たしていない船舶がある場合は入港を拒否し、また、船舶が港内にある場合でも出港停止等の強制措置を講ずることができます。



## 経済産業部

めざせエジソン!  
「発明の子どもフェア」  
開催



経済産業部では、昨年に引き続き、発明の日の4月18日に県民広場において、小中学生を対象に「楽しく物作り、明日の発明キングも夢じゃない」をテーマとした「発明の子どもフェア」を開催しました。

本フェアでは、子ども達に対し発明の重要性、知的財産権制度の必要性について理解を深めることを目的に、親子で参加する「親子もの作り教室」や廃品となった家電製品を分解する「機械分解コーナー」など多彩なプログラムを実施し、多くの子ども達の参加で盛り上りました。

特に、小学校4年の時に発明したペット用糞取りスコップを商品化し、会社の社長として活躍している丸野遥香さん(現在高校生)を招いた意見交換の会場では、遥香さんの発明のエピソードや苦労話に、参加した子ども達も興味津々に聞き入っていました。

経済産業部では将来沖縄からも自分の発明品を基に企業を興し、沖縄の産業界を背負う人材が育つことを期待するとともに、今後もこのようなフェアを開催し、子ども達の無限の可能性を伸ばして行きたいと思います。

## 農林水産部

「久米島新家畜市場」  
が竣工  
畜産基盤再編総合整備事業

平成16年3月12日、久米島町比嘉において畜産基盤再編総合整備事業により「久米島新家畜市場」が竣工されました。

□竣工式では主催者の挨拶、事業経過報告に続き、当局農林水産部長(代読)から、「本施設を地域畜産発展の拠点として、肉用牛生産が一層活発に展開されますよう期待しております。」と祝辞をのべました。

旧家畜市場は、地域の肉用牛振興に多大な役割を果たしてきたものの、設置以来28年を経過し施設が老朽化したこと、また肉用牛の飼養頭数が2,270頭(平成15年12月末現在)まで増加し(平成2年は1,131頭)、平成22年度までの町の畜産振興計画の2,610頭の達成が見込まれることから、上場頭数の増加に伴い現施設が狭小となつたこと、更に周辺地域の宅地化やリゾート施設が隣接したことにより地域環境との調和の維持が困難となつたことから本事業により移転・新設されました。

□新市場は、国、県等の補助を受け、2億8千3百万円の事業費をかけて1万平方メートルの敷地に、つなぎ舎(1,100)、売り場棟(311)、繫宿舎(900)等が整備されました。従来の家畜市場の約2倍の規模となつたことに加え、3施設の間に誘導レールをつり下げ、競りにかける牛の誘導時間の短縮や事故の未然防止が図られるシステムと競り値の精算・集計を処理する最新機器が導入されました。

式典へ参加したJA久米島肉用牛生産部会長の山城和満さんは「このようなすばらしい施設ができ農家はたいへん喜んでいる。この施設に負けないよう農家もすばらしい牛をつくるよう努力していきたい」と喜びと抱負を述べました。

## 農林水産部

土地改良総合事務所  
伊江支所開設

去る4月26日(月)、伊江島で国営土地改良事業「伊江地区」(4月1日着手)の開所式が国営土地改良事業推進協議会会長である島袋伊江村長、前川農林水産部長ら関係者が集まり挙行されました。

伊江支所は支所長・調整係長・用地補償係長・設計係長・工事係長の5名体制でのスタートとなっています。「伊江地区」の誕生までの歩みは、地域開発調査(平成7~8年度)・地区調査(平成9~12年度)・□全体実施設計(平成13~15年度)の各調査期間を経て、着手の運びとなったものです。

「伊江地区」については、総事業費(国営)250億円・地下ダムの有効貯水量754千m<sup>3</sup>・用水路8.3km等の施設計画で平成16年度~平成25年度までの工期で計画されています。現在は法手続中であり、順調に進めば7月中旬頃に事業計画の確定となる見込となっています。平成16年度予算は987百万円であり、事業計画確定後に地下ダムの試験工事発注を予定しています。



伊江支所は、旧伊江港タ-ミナルの1階東側の一角に設置されており、連絡先は下記のとおりです。

【伊江支所連絡先】  
住所 国頭郡伊江村字川平519-14  
TEL 0980-50-6411  
FAX 0980-50-6412

## 財務部

証券仲介業制度の導入

「貯蓄から投資へ」の証券市場の構造改革のもと、投資家が証券取引を行うことのできる場の拡充・多様化を図り、より身近な場所で証券取引ができることを目的として、平成16年4月1日に証券仲介業制度が新たに導入されました。証券仲介業とは、証券会社等(証券会社又は登録金融機関)の委託を受けて、その証券会社等のために、(日)有価証券の売買等の媒介、(月)有価証券の募集若しくは売出しの取扱いを『業』として行うもので、法人・個人を問わず内閣総理大臣の登録を受けて営むことができます。証券仲介業者の業務内容は、取引の勧誘等の事実行為に限定され所属証券会社等の代理権は有しません。また、顧客からの金銭や有価証券の預託を受け入れることも禁止されています。

証券仲介業を行うに当っては、申請される方の主たる営業所等の所在地を管轄する財務局長(主たる営業所の所在地が沖縄県内の場合は沖縄総合事務局長)の登録を受ける必要があります。登録申請に関しては、証券会社等との間で証券仲介業に係る業務委託契約を締結しておくことなどが必要ですので、契約締結先となる証券会社等に事前にご相談ください。詳しくは、証券取引法や証券仲介業に関する内閣府令等関係法令をご確認ください。

また、証券仲介業者を通じ有価証券の取引を行う投資家の皆様におかれましては、その仲介業者が法令に基づいた登録を受けた業者であるかどうか確認することが大切です。証券仲介業者には、仲介業者の営業所等に登録番号などを記載した標識を掲示することが求められています。また、取引の際に所属証券会社等の商号などを明示することも義務付けられています。登録証券仲介業者の確認については、登録を行った財務局において「証券仲介業者登録簿」の総覧ができるほか、金融庁のホームページにおいても証券仲介業者の一覧を掲載する予定ですのでご参考ください。

二点目は、「沖縄総合事務局職員は約1,050名余の大所帯ではあるが、一体感をもち、横の連携を図り、各部協調しながら沖縄総合事務局としての存在意義を高めるための努力をお願いしたい。」と述べました。

□最後に、「いろいろな意見を出し合い議論をしながらいい政策を講じることのできる風通しがよく、しかも楽しく仕事ができる雰囲気づくりに努力していきたいので、職員全員の協力をお願いします。」と述べました。

## 総務部

竹林義久新局長が職員へ就任挨拶



平成16年3月30日付けで沖縄総合事務局に就任した竹林義久局長が、3月31日に着任し沖縄総合事務局職員に対し就任挨拶を行いました。

竹林局長は就任挨拶の冒頭で、沖縄との関わりについて、旧沖縄開発庁で大臣秘書官、企画課長などを経験したが、現地勤務は初めてなので、「初心に戻った気持ちで、みなさんと一緒に仕事をさせていただくつもりです。」と述べました。

更に、二つのお願いとして、一点目に「沖縄県内における沖縄総合事務局の存在意義を高めるために尽力して欲しい」と述べ、その具体化のためとして、「行政側として県民に対する説明責任が強く求められていることから、自分の担当する業務の県民への影響を常に考えながら業務を行う。」とともに、「地方公共団体との関わりのある部局においては、オープンマインドで、相手方の言い分をよく聞き、理解した上で、対応を考え、相手にきちんと説明し、理解してもらう努力を行う。」ことを挙げました。

二点目は、「沖縄総合事務局職員は約1,050名余の大所帯ではあるが、一体感をもち、横の連携を図り、各部協調しながら沖縄総合事務局としての存在意義を高めるための努力をお願いしたい。」と述べました。

□最後に、「いろいろな意見を出し合い議論をしながらいい政策を講じることのできる風通しがよく、しかも楽しく仕事ができる雰囲気づくりに努力していきたいので、職員全員の協力をお願いします。」と述べました。

# 沖縄の次代を担う若者に 夢を与える雇用を！

## （沖縄における企業誘致の取組強化について）

内閣府政策統括官（沖縄政策担当）  
企画担当参事官室

はじめに

県外からの企業誘致は、沖縄の産業振興における重要課題の一つです。内閣府としても、沖縄県はじめ地元自治体の企業誘致活動を支援すべく、沖縄の魅力ある投資環境づくりに向けて、沖縄振興特別措置法に基づく経済特区の創設、賃貸工場や各種インキュベーション施設の整備等を行ってきています。

いて、沖縄の投資環境、特に国内唯一の税制優遇措置がある経済特区に関する認知が十分ではないという実態があります。そこで、内閣府としては、沖縄振興計画の三年目である今年を沖縄の自立型経済の

## 沖縄における企業誘致の取組強化 1 沖縄の投資環境視察ミッション

(二月五日～六日)

先ずは「百聞は一見に如かず」という方針の下、内閣府及び沖縄県は、(社)日本経済団体連合会(以下、経団連)に対しても現地視察ミッション派遣を要請。宮原賢次副会長(=住友商事□会長)を団長に、IT、バイオ、電子素材製造業及び金融等の国内トップ企業の役員クラス二十二名で構成

成された視察団は、特別自由貿易地域の賃貸工場、各種インキュベーション施設及び沖縄科学技術大学院大学建設予定地等を視察しました。視察後、経団連幹部会において宮原団長から、亞熱帯地域の生物資源を活用したバイオ産業の振興が有望であること、東アジアビジネス経済圏の中心であるという地政学的特性や豊富

## 2 沖縄の投資環境評価モ<sub>1</sub>ターツアード

(三月四日) 五日

な若年者労働力等のメリットが報告されました。

### 3 国内製造業「万社向」 投資環境ワソツ、調査(二二四)

## 国内製造業「万社向け」 投資環境アンケート調査(二月)

また内閣府は「国内製造業一万家を对象に、今後の新規事業展開、沖縄経済特区の認知度及び沖縄の投資環境に対する評価等についてアンケート調査を実施。投資環境の周知を図り、投資環境の改善に役立て新たな企業誘致につながることを期待しています。アンケート調査の結果から、沖縄経済特区の知名度が低いことが明らかになつた一方で、今後の投資先として沖縄が選択肢の一つになりうるとの声も寄せられています。

## 4 沖縄経済特区戦略広報強化月間（三月）

構造改革特区や地域再生特区に対し  
全国的な注目が集まる中で、沖縄県は、沖  
縄経済特区の優位性をP.R.するため、新聞  
経済誌、機内誌、テレビ特別番組及びワンド  
ストップサービス・ホームページ(<http://bizzone.okinawa.com>)等を総合的に活用してメデ

やまと

沖縄県においては従前より稟議知事らが積極的なトップセールス活動を行つてきているところですが、去る三月三日には経団連の定例理事会に出席し、二百社を超える国内トップ企業の役員に対してプレゼンテーションを行い、沖縄への企業誘致を呼びかけました。

沖縄特別振興対策調整費による補助を行いました。期間中、ホーテルにページへのアクセス件数はわずか一ヶ月で一万件を超える回響がありました。

A group of men in dark suits and ties are standing on a bridge under construction. They are holding large blueprints and looking at them. The bridge has a white railing and a yellow center line. In the background, there are more bridge structures and a clear sky.

オベンチヤー企業の研究開発支援事業を補助しています。沖縄は依然として全国最低の所得水準と全国最悪の失業率を抱えており、次代を担う沖縄の若者に夢を与える雇用の創出は喫緊の課題です。内閣府としては、引き続き沖縄県はじめ地元自治体と連携・協力を図りながら企業誘致活動を粘り強く支援していきます。

# INFORMATION

\* お 知 ら せ \*



沖縄総合事務局  
開発建設部長に

さ と う ひ ろ た か  
佐 藤 浩 孝  
が就任

溝内俊一 前開発建設部長  
の転任に伴い、平成 16 年 4  
月 1 日付けで開発建設部長に

佐藤浩孝氏が就任した。

昭和 50 年九州大学工学部卒業、昭和 52 年東京都立大学大学院工学研究科修了。同年運輸省入省、平成 9 年運輸省第三港湾建設局境港湾空港工事事務所長、平成 10 年運輸省港湾局付（ヴィエトナム国政府に派遣）、平成 12 年運輸省東京航空局飛行場部長、平成 14 年内閣府沖縄振興局振興第三課長を歴任後現在に至る。

長崎県出身 51 歳



沖縄総合事務局長に

た け ひ ば や し よ し ひ さ  
竹 林 義 久  
が就任

成田一郎 前沖縄総合事務  
局長の転任に伴い、平成 16  
年 3 月 30 日付けで沖縄総合  
事務局長に竹林義久氏が就任  
した。

昭和 51 年九州大学法学部卒業。同年総理府入府、平成 3 年公害等調整委員会事務局審査官、同年総務庁北方対策本部参事官、平成 5 年総務庁統計センター管理部管理課長、平成 6 年総務庁人事局高齢対策課長、平成 9 年総務庁青少年対策本部企画調整課長、平成 11 年沖縄開発庁総務局企画課長、平成 13 年内閣府迎賓館次長、同年内閣府大臣官房参事官（人事課）、平成 15 年内閣府賞勲局総務課長を歴任後現在に至る。

長崎県出身 50 歳

## 組織変更のお知らせ

平成 16 年 4 月 1 日付けで沖縄総合事務局組織規則等の一部が改正されました。主な変更内容は下記のとおりです。

1 開発建設部に新たに地方計画室が設置されました。また、港湾・空港工事検査官に替えて港湾空港情報管理官が、営繕監督室に替えて営繕監督保全室がそれぞれ設置されました。

① 地方計画室は、都市行政、住宅行政及び建築行政に関する連絡に関する事務、建設業、建設関連業等の許可及び登録に関する事務を行います。

② 港湾空港情報管理官は、港湾等の整備及び保全、飛行場に関する土木施設の整備及び災害復旧並びに海洋汚染防除に関する工事の検査等に関する事務、港湾等及び飛行場に関する気象等の情報収集及び処理等並びに港湾の保安の確保に関する事務等を行います。

③ 営繕監督保全室は、営繕工事の施工に関する事務、営繕工事に係る入札及び契約の技術的審査に関する事務等を行います。

2 運輸部に新たに監査指導課が設置されました。監査指導課は、道路運送の安全の確保に関する事務、貨物利用運送事業、道路運送事業及び自動車ターミナル事業に関する監査及びこれに基づく指導並びに自家用自動車の使用についての監査及びこれに基づく指導に関する事務などを行います。

3 伊江村において国営かんがい排水事業を実施するため、土地改良総合事務所の伊江支所が設置されました。

4 那覇港湾空港工事事務所、平良港湾工事事務所及び石垣港湾工事事務所の名称がそれぞれ那覇港湾・空港整備事務所、平良港湾事務所及び石垣港湾事務所に変更されました。

## 事務室移転のお知らせ

沖縄総合事務局農林水産部消費・安全課と食糧課は、平成 16 年 4 月 1 日（木）から、那覇市西の西庁舎から那覇市前島のふそうビルへ移転いたしましたのでお知らせいたします。

〒900-8530  
那覇市前島2-21-13  
ふそうビル

沖縄総合事務局農林水産部  
消費・安全課(3F)

電話 : 098-866-0156  
FAX : 098-866-0671

沖縄総合事務局農林水産部  
食糧課(9F)

電話 : 098-866-0155  
FAX : 098-867-4001

tv asahi

※ ゲスト予定の皆さまへ

「マイ茶碗」を忘れずお持ちください。



小倉智昭・柴田理恵の

# いまとどき! ごはん



多彩なゲストと ごはんを巡る「にっぽんの主食」情報番組



毎週日曜よる6時放送

【テレビ朝日全国ネット】日曜 18:00~18:30 テレビ朝日・北海道テレビ・青森朝日放送・岩手朝日放送・東日本放送・秋田朝日放送・山形朝日放送・福島朝日放送・宮城朝日放送・新潟朝日放送・長野朝日放送・北陸朝日放送・富山朝日放送・ABCテレビ・宮崎朝日放送・鹿児島朝日放送・沖縄朝日放送・山口朝日放送・徳島朝日放送・愛媛朝日放送・四国朝日放送・NHKテレビ・高知文化放送・高知朝日放送・佐賀朝日放送・福岡朝日放送・福岡朝日放送・大分朝日放送・熊本朝日放送・鹿児島朝日放送・宮崎朝日放送・山形放送・土曜 12:30~13:00・北陸放送 日曜 17:30・福井放送 土曜 18:30~19:00・山形放送 日曜 10:30~11:00・四国放送 土曜 19:00~19:30・高知放送 土曜 19:00~19:30・びわTV 土曜 18:00~18:30・ラジオ青森 土曜 18:30~19:00

提供:農林水産省・米穀安定供給確保支援機構・JA全中 制作:テレビ朝日・イースト

沖縄総合事務局

ホームページアドレス <http://www.ogb.go.jp>

★局報「群星」に対する「皆様の声」をお待ちしています。